

# 財務省税関の業務

## 空港旅具

### 最前線の最後の砦



東浦 領一

大阪税関関西空港税関支署  
統括監視官(旅具通関部門担当)付  
平成30年一般職(高卒者)事務

私は現在、大阪税関関西空港税関支署旅具通関部門に所属し、関西国際空港から航空機を利用して出入国する旅客の手荷物に対する検査を行っています。

旅具通関部門では、関税法において海外から日本に輸入してはならない貨物となっている覚醒剤、大麻等の不正薬物、知的財産権を侵害する偽ブランド品、爆発物等のテロ関連物資等が不正に持ち込まれよ

うとしていないかどうかを確認するための検査を行っています。また、海外から持ち込まれるブランド品、お酒やたばこ等に対する関税等の適正かつ公平な徴収も旅具通関部門での重要な業務の一つとなっています。旅具通関は、航空機旅客に対する水際取締りの最前線であり、また国内への最後の砦となるため、重大な責任が伴う仕事です。

新型コロナウイルス感染症に対する水際対策によって訪日旅客が大幅に減少しているため、航空機旅客による不正薬物等の密輸摘発量は、コロナ禍以前と比較すると大幅に減少しています。しかし、水際対策については、日々見直しがされている状況であり、今後回復の兆しを見せつつある航空機旅客を、公正かつ迅速に取り締まり、不審な旅客を発見するために日々、自己研鑽や部門内・支署全体において研修を実施しています。

また、旅具通関部門は空の玄関口で業務にあたるため、必然的に英語や中国語などを使う機会が多くあります。しかし、語学力に自信がなくとも税関には様々な研修制度が充実しているため、多くの職員がそれを利用しており、私も中国語を学び、業務に活かしています。

もし、旅具通関部門に興味があれば、是非、税関に入ってください。やる気溢れる皆さんと共に、税関職員として仕事ができる日を待ち遠しく思っています。



## 海港取締

### 日本の水際は私たちが守る



沖島 菜千香

長崎税関監視部  
統括監視官(取締第1部門担当)付  
令和2年一般職(大卒程度)行政

私は、長崎税関監視部取締部門に所属し「安全・安心な社会の実現」という税関の使命を果たすべく不正薬物やテロ関連物資などの密輸を阻止するために水際での取締りに従事しています。

具体的には、外国から来る船舶に対する臨船尋問や船内検査、海港の巡回及び張込み、入国する旅客や乗組員に対する手荷物検査等の取締業務を行っています。また、取締業務をより効果的に行うため、港湾関

係者や漁業関係者などから、不審な動きや噂がないか情報収集したり、ときには、海上保安庁や警察などと合同で取締りを実施したりすることもあります。

日本は島国であることから、不正薬物やテロ関連物資などは必ず海を渡ってきます。それらの国内への流入を水際で絶対に阻止する!という強い使命感を持って、チームで協力しながら日々取締りを行い、やりがいのある毎日を送っています。

また、事務所では船舶の入出港に伴う手続きや船舶と陸との間を往復する人の交通許可、貨物の積卸しに関する事務などの窓口業務も行っています。現場での取締業務とは打って変わってデスクワークになりますが、これも税関行政上、重要な役割を果たすものです。

新型コロナウイルスの影響により社会情勢が大きく変化する中にあっても私たち税関職員は「安全・安心な社会の実現」のため、臨機応変に対応することが求められています。

150年という長い歴史がある税関において、最前線で世界の動きを身近に感じながら働くことは刺激的であり、税関職員としての誇りを感じます。

皆さんも税関職員として一緒に水際で日本の安全を守りませんか。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



## 知的財産

### 模倣品が出回らない社会の実現のために



保田 恵里奈

東京税関業務部総括知的財産調査官付  
(大阪税関採用)  
平成26年一般職(大卒程度)行政

皆さん、知らないうちに模倣品(ニセモノ)を購入してしまったことはないでしょうか。模倣品などの知的財産侵害物品は、税関では拳銃や麻薬などと同じように、「輸入してはならない貨物」となっていることをご存じでしょうか。

令和3年において、税関では、80万点以上もの知的財産侵害物品を差し止めており、近年は医薬品や化粧品、バッテリーなど、健康や安全を

脅かすものも多く見つかっています。

現在私が勤務している総括知的財産調査官(通称:知的財産センター)では、知的財産の取締りの統一的な運用を確保するために、全国9税関の調整、税関の取締りを検討している権利者からの輸入差止申立てへの対応を主に担当しています。莫大な数の貨物が輸入される中から、知的財産侵害物品を水際で取り締まるためには、輸入差止申立てが非常に重要となるため、日々、使命感を持って業務に取り組んでいます。さらに、権利者と協力・連携し、申立てを受けた貨物を水際で差し止めることができた際には、とてもやりがいを感じます。

また、近年の電子商取引の発展により、海外の通販サイトから個人が商品を直接購入できるようになった一方で、商標法等の規制対象となっていない個人使用目的とした模倣品の輸入が増えているのも現状です。これまでは、個人使用目的で輸入される模倣品は、税関において取締りの対象とはなっていませんでしたが、今般、改正商標法等で規制対象となった物品が、関税法上の「輸入してはならない貨物」として規定されました。これにより、税関の取締りは実効性を持ち、その重要性は増していくものと考えています。

模倣品が出回らない安全安心な社会の実現のために、知的財産侵害物品の取締りに力を注いでみませんか。皆さんと一緒に、税関で働くことができる日を楽しみにしています。



## 犯則調査

### 密輸事件の真相を解き明かす



井上 佑哉

函館税関札幌税関支署統括審理官付  
平成29年一般職(大卒程度)行政

私は函館税関札幌税関支署審理部門に所属しており、不正薬物や拳銃の密輸入をはじめとした様々な関税法違反事件の調査を行っています。

例えば、他部門の職員が入国旅客や輸入貨物等から不正薬物を発見した場合には、その多くが審理部門に引き継がれ、以降の調査を担当します。

具体的には、内偵や張込み、尾行等の行動確認、官公庁または公私の

団体への照会による資料入手、搜索、証拠品の差押え、携帯電話のデータ解析、取調べ、事件処分や検察庁への告発等を行います。

張込みや尾行と聞くと、刑事ドラマなどでよく見る警察の仕事のイメージが強いと思いますが、実際に審理部門ではそれに近い仕事をしており、現に警察や麻薬取締部等の関係機関と情報交換や共同調査を行うことが多く、時には不正薬物を偽物にすり替えて泳がせ捜査をする場合もあります。

このように、密輸事件を徹底的に調査し真相を突き止め、ひとつでも多くの密輸を阻止する。それが審理部門の仕事です。

昨今の密輸手口は多様化・巧妙化してきており、密輸事件を取り巻く環境は常に変化しています。複雑化する事件の全容解明のためには、成果が得られるまで根気強く取り組まなくてはならない仕事も多く、ときに壁にぶつかることもあります。部門が一体となって検討や試行錯誤を重ねた調査が事件の解決に結び付いたときには、強い達成感とともに、自身の確かな成長を感じることができず。

また、税関職員として自分の能力を発揮することで国民の安全・安心な社会の実現に貢献しているという実感は、私の仕事に対するやりがいと情熱に直結していると思います。

同じチームのメンバーとして、皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。





# 財務省税関の業務

## 通 関

貿易の最前線で安全・安心な生活を守る



謝花 牧子

沖縄地区税関業務部統括審査官(通関部門)付  
平成30年一般職(大卒程度)行政

「税関」と聞くと、海外旅行から帰ってきた際に通る旅具通関部門をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。旅具通関部門に比べあまり知られていない通関部門ですが、日々の生活を行っていく上で欠かせない大切な役目を担っています。

貨物を輸出入する際には、税関へ申告し許可を受ける必要があります。その一連の税関手続きを「通関」といいます。私の所属する通関部門では、その「通関」の中において、輸出入申告の審査や貨物の検査を担当しています。

審査においては、「税」と「関」の観点から審査を行います。

「税」の審査では、輸入貨物に課される関税等の税金が適正なものか確認しています。輸入貨物の関税は関税率等によって定められており、正しい関税率を適用するには、あらゆる輸入貨物に割り当てられているHSコードや、様々な商品知識に精通する必要があります。また、最近では各国とのEPA（経済連携協定）を使った申告

も増えています。EPAを適用すると通常よりも低い関税率で輸入することができるため、申告された貨物がEPAの適用が可能なものか確認を行っています。

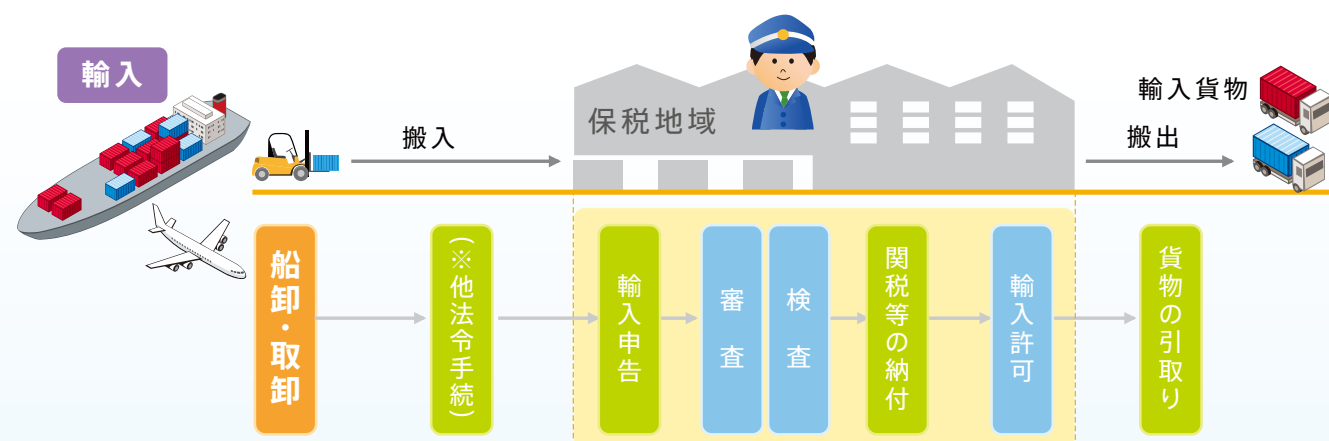
「関」の審査では、不正薬物やコピー商品等の「輸出入してはならない貨物」が紛れていないか等の確認をしています。書類上の審査だけではなく、必要に応じて貨物を開けてみたり、エックス線検査装置や麻薬探知犬等を活用したりしながら臨機応変に対応しています。

このように審査には多くの知識が必要とされるため、税関では研修制度が充実しています。また、現場においても上司や先輩のサポートがあり、知識を習得しながら業務に臨むことができます。

貿易の最前線である通関部門では、日本国内だけでなく世界情勢や国外の流行を身近なものとして感じることができ、とても魅力のある職場です。日本の安全で便利な生活を支える税関職員の一員として、みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。



### ▶ 貨物到着から貨物引き取りまでの流れ



※他法令手続：貨物によっては、食品衛生法、植物防疫法、家畜伝染病予防法などの関税関係法令以外の手続が必要になるものがあります。

## 事後調査

貿易の最前線を実感し、視野が広がる



小野 剛佑

神戸税関調査部  
特別関税調査官(調査第3担当)付  
平成28年一般職(高卒者)事務

皆さんは、輸入事後調査という言葉を知っていますか。

私は神戸税関調査部事後調査部門に所属し、輸入事後調査業務に従事しています。輸入事後調査とは、輸入貨物の通関後に輸入貨物に係る関税・消費税等の納税申告が法令に従って適正に行われていたかどうかを確認する制度であり、「適正かつ公平な関税等の徴収」という税関の使命を達成することを目的としています。

具体的には、輸入者の事業所等を訪問し、輸入取引の内容について聴取した上で、貿易関係書類や経理関係書類等を精査していきます。調査の結果、申告内容に誤りがあれば是正するとともに、今後の輸入申告を適正に行うよう指導します。

近年はコロナ禍の中、WEB会議システム等を活用し、輸入者の事業所を訪問しない形での調査を行う新たな調査手法を実施する等、社会情勢の変化にも柔軟に対応しながら業務を遂行しています。

ここまでの文章を読んでいただき、「自分にできる仕事かな」と不安に感じられた方もいるかもしれませんが、私自身も最初は知識・経験不足により不安を感じていましたが、経験豊富な上司と共に調査に赴き、調査手法や輸入者とのやりとりを間近で見ながら経験を積むことで、やりがいを感じながら調査に臨めるようになりました。また、新たな知識が習得できる研修が実施されるなど自分を成長させられる機会も多くあります。税関には多岐に渡る業務があるので、自分自身がやりがいを感じることができる職場を見つけることができます。

パンフレットを手に取ってくださった皆さん、「海外や社会情勢の動きに柔軟に対応する税関」、「国境の最前線で海外と向き合う税関」と様々な側面を持つこの職場で日本の安全と安心を守り、やりがいを感じ、使命感を持って一緒に働いてみませんか。



## 品目分類

時代の変化に対応し続ける



福島 亜衣

門司税関業務部首席関税鑑査官付  
平成26年一般職(大卒程度)行政

皆さんの身の回りにあふれている海外からの食料や洋服、靴などの輸入された商品には、関税という税金がかかります。その関税を算出するための割合を関税率といい、物品ごとに9桁の数字(統計品目番号)が割り振られ、関税率表という表に定められています。「品目分類」とは、輸入される商品を関税率表の適正な分類に仕分けることです。

私の所属する関税鑑査官部門では、品目分類の判断に迷う輸入商品

の問い合わせに対し、適正な分類を検討し回答しています。世界共通のルールをもとに品目分類をしていますが、物品の素材、加工度合、機能、用途等によっても分類が異なり、関税の額も大きく変わるため、とても奥が深く難しい業務です。しかし、そこが面白いところだと感じています。

世界中で新しい発見や技術開発が進み、これまでの関税率表では想定していなかったものが新たに生まれることもあります。そのような様々な変化に対応できるように、9桁の統計品目番号のうちの6桁を構成するHSコードというものが5年ごとに見直され、改正されています。例えば、直近では「3Dプリンタ」や「ドローン」等を分類するHSコードが新設されており、関税率表は、ある意味時代や流行を映し出していると言えます。関税率表が時代の変化に対応するように、私たち税関職員も日頃から勉強して、絶えず増え続ける商品の知識を身につけていくことが必要不可欠です。

多種多様な商品を検討する中で判断に迷うことも多いですが、部門内で和気あいあいと議論しています。一人一人の異なる経験から知恵を出し合い、互いの商品知識を広げ、適正な統計品目番号を回答できるように日々楽しく取り組んでいます。皆さんの新たな視点や柔軟な発想を税関で生かしませんか。





# 財務省税関の業務

## AEO

### 協力関係により不正を防止する



北田 淳

東京税関業務部  
総括認定事業者管理官付調査官(東京税関採用)  
平成20年Ⅱ種 行政

私が所属する総括認定事業者管理官(AEO)部門では、実際に貿易業務に携わる輸出入事業者等と協力関係を作り、不正貨物の輸出入防止を目的として様々な取組みを行っています。

AEO(Authorized Economic Operator)制度とは、米国の同時多発テロを発端に発展した制度で、法令遵守・セキュリティ体制が優れた事業者を税関が承認・認定するものです。税関は、承認等を受けた事業者に対してスムーズな輸出入手続きを提供することで、より高リスクの貨物に力を結集することで輸出入手続きの時間短縮といった効果が生まれます。

このAEO制度においては、承認等の後も事業者に継続して法令遵守体制等を維持してもらう必要があるため、日頃から密にコミュニ

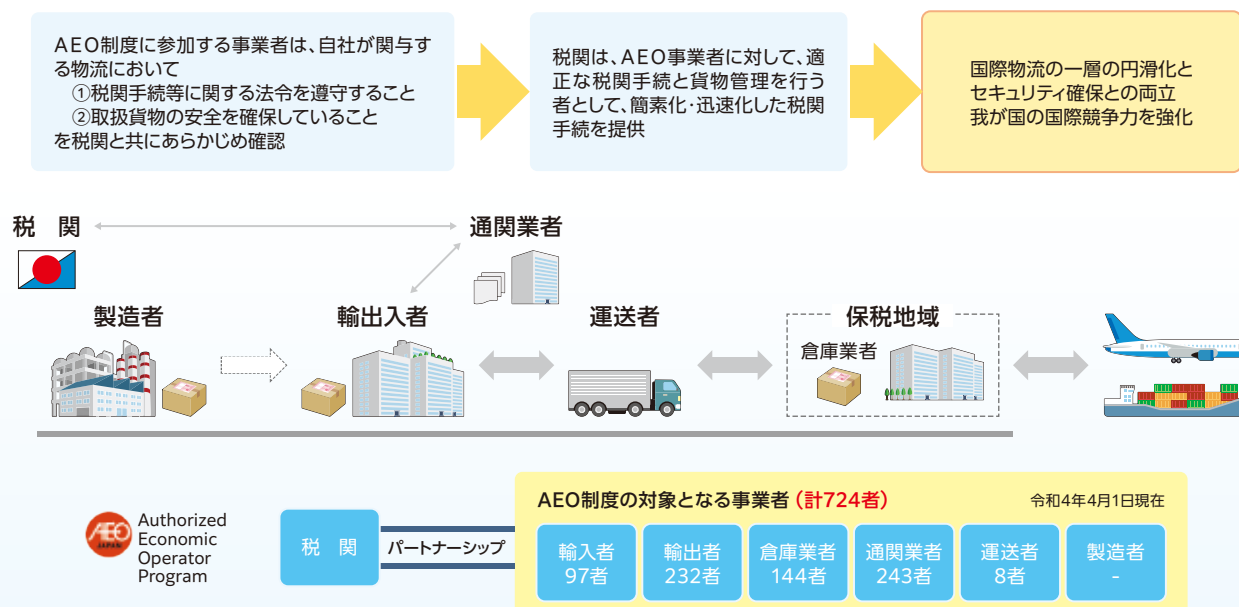
ケーションを取ることが重要です。貿易環境が日々変化する中で、事業者から相談を受ける機会は多々ありますが、各者が置かれている状況は様々で、既存の通達やマニュアルを当てはめるだけでは解決できない問題がほとんどです。それらの問題を解決するため、あらゆる選択肢を柔軟に検討し、各者にとって最善の解決策を提案する必要がありますがあるところがこの部門の難しさであり、魅力の一つだと考えています。

また、多種多様な企業の方と会話をする中で、その企業の考え方や貿易形態等を深く知ることができます。輸出入申告に始まり許可に至るまで、一地点にとどまることなく国際物流全体を線で把握できることは、他の部門では得ることのできない貴重な経験だと思います。

このように税関の業務は幅広く、皆さんの活躍できる場所はきっと見つかるはずです。税関職員として色々な可能性にチャレンジしてみてください。



### ▶ AEO制度とは



## 技術協力

### 専門性と語学を活かして



伊藤 由佳

名古屋税関調査部統括調査官  
(輸入調査第3部門担当)付  
平成28年一般職(大卒程度)行政

「将来は、外国語を使って働きたい。」「専門知識を活かして海外で活躍したい。」税関には、そんな希望を持つ方にぴったりの分野があります。「関税技術協力」です。

関税技術協力とは、政府開発援助(ODA)の一環として関税局・税関が行っている、発展途上国の制度改善や近代化に向けた支援のことで、途上国の税関職員を日本に受け入れて行う「受入研修」と、日本の職員

が各分野の専門家として海外へ派遣される「専門家派遣」があり、視察やワークショップなどを通して日本の制度や知見を途上国へ共有しています。令和2年ごろからは、新型コロナウイルスの感染拡大もありましたが、そのような状況下でも、WEB会議システムを用いたワークショップなどが積極的に開催されてきました。

私は、日ごろの業務に加え、名古屋税関の国際化推進支援組織に所属し関税技術協力に携わっています。通常業務との両立になるため、事前準備など大変なこともあります。熱意をもって日本の知見を吸収しようとする途上国職員の姿を見るたびに、「自分ももっと頑張らなければ」と、いつも良い刺激をもらっています。また、関税技術協力分野のみならず、日本開催のWCOフォーラムのサポートやメキシコ留学研修など、貴重な経験の機会にも恵まれ、外国語を使って税関職員として働くフィールドの広さを実感しています。

もちろん、研修制度等も充実していますので安心してください。語学や必要な知識の習得、プレゼン技術向上のための研修のみならず、諸先輩方の貴重な経験談を聞く機会も十分に用意されています。

税関には、専門性を高め、語学力を活かすチャンスがあります。自分の可能性を信じて、大きく羽ばたいてみませんか。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。



## 原産地

### 国際物流の最前線で働く



磯崎 良美

横浜税関業務部原産地調査官付調査官  
平成18年Ⅲ種 行政

皆さんが普段生活している中で、外国から輸入された製品を見かける機会は多くあると思います。輸入された製品には、関税という税金がかかりますが、この税金、安くなったら良いなと思いませんか。

関税を安くするだけではなく、特定の国や地域同士での貿易や投資を促進するのが、経済連携協定いわゆるEPAであり、我が国は現在20以上の国・地域と協定を結んでいます。最近では、2022年1月に地域的

包括経済連携(RCEP)協定が発効し、新聞やニュースでも大きく取り上げられました。

EPAにより定められた低い関税を適用するためには、輸入しようとする物がどこの国で作られたのかが重要になります。例えば、中国産のりんごを使用して、タイでりんごジュースを製造した場合、このジュースはどこの国で作られたものなのか、つまり、原産地はどこになると思いますか。この原産地を決めるためのルールのことを原産地規則といいます。

私が所属する原産地部門は、原産地規則についての解釈や適用の問い合わせへの対応や、EPAにより定められた低い関税を適用して輸入許可されたものが適正であったかどうかを事後的に輸入者へ確認する仕事を行っています。

今後、今よりももっとヒトやモノの動きが活発化していくであろう国際物流、その最前線である税関の役割は、より一層重要となっています。

税関業務は多岐にわたることから、様々な業務を経験しながら、自分に合った仕事を見つけられると思います。また、研修制度も充実しており、多くの専門知識を学ぶことができます。このパンフレットを読んで少しでも税関の仕事に興味を持った方は業務説明会に参加してみてください。皆さんと共に仕事ができる日を楽しみにしています。

